

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	高等技術校管理運営事業		
目的	(1) 対象	高等技術校(東部校・西部校)で公共職業訓練を受講する訓練生	
	(2) 意図	施設の適切な管理運営を行い、効果的な公共職業訓練が受講できるようにする。	
事業概要	訓練生に対して、職業訓練を実施するために、高等技術校の適切な管理運営を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	高等技術校の訓練科定員に対する応募倍率	目標値	1.1	1.1	1.1	1.1	倍
	式・定義	(高等技術校へ入校願書を提出する学卒者数+高等技術校へ入校願書を提出する離転職者等数) / 入校定員	取組目標値					
			実績値	0.8				%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	65,801	69,165
うち一般財源 (千円)	60,915	64,609

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・訓練定員に対する応募者数について、前年度と比べ一部増加した訓練科もあるが、減少した訓練科が多く、全体としては減少した。(126→110)
 前年度と比較して大きく応募者が減少した科は次のとおり
 東部校 美容科(29→25)、建築科(17→13)、介護サービス科(9→3)
 西部校 建築科(12→5)
 ・対象定員130名に対する入校者数についても、昨年度と比べ増加している訓練科もあるが、全体としては99名から83名へと減少した。
 特に東部校のものづくり機械加工科、ハウスアート科、介護サービス科、西部校の建築科は、それぞれ1名、1名、3名、3名と定員(各10名)を大きく割り込んだ。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

次の訓練科で応募者数が増加した。
 東部校 自動車工学科(18→23)
 Webデザイン科(10→13)
 西部校 OAシステム科(11→14)
 機械加工・溶接科(4→5)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
 応募者数が減少し定員を確保できない訓練科があること。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ・高等技術校の認知度の低さ
 ・少子高齢化による高校卒業者数の低減
 ・高校生の内定率や有効求人倍率が高く、訓練ニーズが高まらないこと
 ・定員割れを起こしている訓練科に関する業界の人氣が高まらないこと
- ③原因を解消するための「課題」
 ・高等技術校のイメージアップ

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

高校の進路説明会への参加や職業安定所への訪問説明、ホームページ等多様な媒体による情報発信、「ものづくり体験フェア」や体験教室、オープンキャンパス等を引き続き実施するが、その中で職業訓練のメリットをしっかりと情報発信する。
 西部校の寄宿費助成金の増額により、家賃負担の軽減を図り入校促進を図る。
 入校募集について、年齢制限を撤廃し幅広い年齢層へ訓練機会を提供することにより入校生の確保に努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)